

第60回揖斐郡消防操法大会

～揖斐川町消防団が2部門で優勝～

6月21日(日)、市場グラウンドで、第60回揖斐郡消防操法大会が開催されました。

大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部10チーム、ポンプ車の部13チームが出場し、消防技術を競い合いました。

大会の結果は以下のとおりです。

《小型ポンプの部》

- 優勝 揖斐川町消防団 第5班
- 準優勝 揖斐川町消防団 第3班
- 3位 揖斐川町消防団 第6班

《ポンプ車の部》

- 優勝 揖斐川町消防団 第3班
- 準優勝 揖斐川町消防団 第6班
- 3位 大野町消防団 第2班

またこの大会で優勝した揖斐川町消防団は、8月2日(日)に海津市で開催される「消防感謝祭」第64回岐阜県消防操法大会に揖斐郡代表として出場します。



▲小型ポンプの部優勝 揖斐川町消防団 第5班



▲ポンプ車の部優勝 揖斐川町消防団 第3班

FC岐阜恩田社長が揖斐川町に

～ぎぎいへの熱き想い～

6月5日(金)、小島小学校でFC岐阜恩田^{おんだ}聖敬社長による講演会が行われました。

恩田社長はALS(筋萎縮性側索硬化症)という難病を患っており、話すことや歩くことが困難になってきているそうです。小島小学校に集まった約60人の町民の皆さんは、声をふりしぼって語る恩田社長の声を、聞きもらすことのないように、ほんとうに真剣に聞いていました。

恩田社長は「いつか必ずこの病気を治すことができるようになる。それまではしぶとく生きて、家族や応援してくれた人に恩返しをしたい」と話し、町民の皆さんから恩田社長を応援するメッセージと花束が贈られました。



▲恩田社長へお礼の花束を贈呈

OKB森林共和国

～誰もが楽しめる森林づくりを目指して～

6月27日(土)、揖斐高原スキー場ゲレンデ跡地においてOKB森林共和国建国式が行われました。

OKB森林共和国は5月12日(火)、大垣共立銀行、岐阜県、揖斐川町の3機関で締結された、恵みの森林づくり協定を受けて、実施される森林づくり活動です。

約200本のヤマザクラやカエデを植樹することで、冬のレジャーだけでなく、一年中景観を楽しむことのできる森林づくりを目指しています。

当日はあいにくの雨模様でしたが、式典には多くの方が訪れ、植樹活動や、魚釣り体験、バザーなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが行われました。これからも年に数回、地域の方など、誰もが楽しめるイベントが行われる予定です。



▲植樹を行う参加者たち



▲丸太切りにチャレンジする子どもたち

清流の国ぎふ



揖斐川町では、平成24年度から「清流の国ぎふ森林環境税」を活用した「いびがわキッズ探検隊」事業を実施しています。

6月9日(火)～10日(水)には、北方小学校の5年生16名が、ふじはし星の家で、オリエンテーリング、マイ箸づくり、飯ごう炊飯などの活動に取り組みました。

丸太切り体験では、班の仲間と「もうちょっと!」「がんばれ!」などと励まし合い、太いスギやイチヨウの木を切ることができました。のこぎりの使い方がどんどん上手になり、みんな喜びました。切り落とした木を手に取り、「いい匂いがある」と言う子の笑顔が素敵でした。

この事業は、町内小中学校の野外学習活動の対象としています。豊かな自然の中での体験活動を通して、自然の恵みを再確認することができました。

北方小学校野外学習活動

いびがわキッズ探検隊



▲刈初めの儀を行う宗宮町長

6月24日(水)、谷汲デイサービスセンター建設工事の安全祈願祭が建設地で行われました。

建設が始まる谷汲デイサービスセンターは、現在の谷汲岐礼地内の施設が老朽化したことにより谷汲名礼地内に移転するものです。

谷汲地域はもちろん、揖斐川町全域のデイサービス拠点施設としてリハビリ室、入浴室、機能訓練室などを備える予定で平成28年2月の完成を目指しています。

安全祈願祭には宗宮町長ら関係者約70名が出席し、鎌入れなどで工事の安全を祈願しました。

宗宮町長は「小学校、幼稚園が周りにあり、子どもと高齢者が交流する場として効果を発揮することを期待したい」とあいさつしました。

谷汲デイサービスセンター着工

工事の安全を祈願



▲平和を呼びかける参加者たち

6月15日(月)、核兵器廃絶や戦争反対を訴えて行進する「国民平和大行進」が揖斐川町にやってきました。

揖斐川町では、真教寺(三輪)から役場まで、強い日差しの中を約30人が行進を行いました。

この取り組みは、東京や沖縄から平和への思いを訴えながら、広島や長崎を目指すもので、揖斐川町でも毎年行われています。

宗宮町長は「唯一の被爆国である日本だからこそ、核兵器廃絶・戦争根絶を訴えていかなければならない」と語り、平和への願いが込められたペナントを手渡しました。

国民平和大行進が揖斐川町に

核兵器のない世界をめざして



▲消火栓の塗装をする水道組合の皆さん

6月17日(水)、町内の水道業者15社で組織する揖斐川町水道組合が、古くなった消火栓の塗装をしました。

この奉仕活動は、消火栓の設置に携わった町内の水道業者らが、劣化して塗装の薄くなった消火栓に色を塗って、老朽化を防ぐ取り組みであり、今年で6年目です。

この日は、小島地区全域の消火栓82基の塗装をしました。

町内にはおよそ8000基の消火栓があり、今回で5500基の補修が完了しました。

今後も町の美化に協力し、この活動を毎年行う予定です。

水道組合の皆さん、お疲れさまでした。

水道組合が 消火栓の塗装ボランティア

アメリカディクシー州立大学の学生が揖斐川町を訪問

アメリカのディクシー州立大学から学生と教授12名が来町し、6月12日から16日までの間、町内の観光・視察を行いました。同大学は、揖斐川町とマラソン交流を続けているセントジョージ市にあり、学生の訪問もマラソン交流がきっかけで始まりまし

た。13日には、桂茶の工場や徳山ダム、両界山横蔵寺の見学を通して、町の特色ある産業・歴史・文化などを学びました。15日には町内の学校を訪れ、児童生徒との交流を図りました。大和小学校では、桂古代踊を見学・体験し、北和中学校では、生徒から英語で揖斐川町の紹介を受けました。揖斐高校では、着物の着付け体験や、飾り切り実習の見学、街並み散策をしました。学生らは、「自然や歴史など、見所が多い」「人の心温かさに感動した」と話し、滞在を満喫した様子でした。



▲英語で交流をする生徒たち

谷汲ゆり園

30万株

6月7日(日)、谷汲ゆり園がオープンし、30万株のゆりが来場者を出迎えました。

谷汲ゆり園は、谷汲大洞地区の皆さんの手作りで、平成8年の開園以来、大勢の人が訪れる人気の観光スポットとして知られています。現在は3ヘクタールの敷地に51品種のゆりが植えられており、色とりどりのゆりを観賞することができます。

6月21日(日)には、ゆりまつりが開催され、歌謡ショーやフォトコンテストなども行われ、会場を盛り上げていました。

また、6月24日(水)、谷汲ゆり園の会長を務める山岸保明さんが、岐阜県観光連盟から観光事業功労者として表彰を受けました。これからも揖斐川町の観光資源として、大切に育てていきたいです。



▲美しく咲くゆり

親子マス釣り教室

清流で育まれた豊かな自然

7月5日(日)、旧久瀬小中学校プールで、親子マス釣り教室が開催されました。同教室は、揖斐川久瀬漁業協同組合が、揖斐川が誇るすばらしい自然に、子どもたち、また家族で親しんでほしいという思いから計画したものです。

当日は、前日の雨によって川が増水し、プールでの体験となりました。会場には150人ほどの家族が集まり、プールに放たれた1000匹を超えるニジマス釣り上げました。

また、釣り体験の後には、浅いプールでのつかみ捕りも行われ、子どもたちも夢中で追いかけていました。釣り上げられたマスは、会場で塩焼きにして食べることができ、親子で味わいました。



▲マス釣りを楽しむ親子

第2回交通安全大講堂

大切な命を守る為に

7月8日(水)、清水公民館で第2回清水小学校区高齢者交通安全大講堂が開催されました。

揖斐警察署による交通安全講話では、今年に入ってから、県内での交通死亡事故が多発しており、その6割が高齢者であることなどの説明を受けました。

また、今回は体験型の授業として、模擬運転装置や対応能力検査機を用いた診断が行われました。

対応能力検査機「点灯くん」による診断では、モグラたたきの要領で、点灯するボタンをすばやく押して、認知・判断・記憶・動作などを検査します。慣れない操作に戸惑いながらも、ゲーム感覚で行う検査には、参加者からも笑顔がこぼれ、なごやかな雰囲気での交通安全への意識を高めました。



▲「点灯くん」による診断